

1 治安情勢

年明け直後は年末年始休暇により観光客が増加し、犯罪被害も増加傾向にあった。しかし新型コロナウイルスの感染拡大を背景にイタリアの観光客が減少すると、それに伴い犯罪被害も減少していった。特に3月の犯罪被害件数の減少は顕著であった。

2 日本人被害例

スリの被害件数は増加したものの、その他の被害件数は前四半期と同程度もしくは減少した。細部の被害状況については以下のとおり。

(1) スリ 43件（10月～12月：36件）

ア ローマ市内の地下鉄に乗車中、混雑した車内にて何者かに貴重品を盗まれたと思われる。

イ ローマ市内の路上にて、4名の見知らぬ女に囲まれ、動揺している際に貴重品を盗まれたと思われる。

(2) 置き引き 4件（10月～12月：5件）

ア ローマ市内の飲食店にて、椅子にカバンをかけて食事をしていたところ、何者かにこれを盗まれていた。

イ ミラノからローマに向かう電車の車内にて、棚に置いていたカバンを何者かに盗まれていた。

(3) ひったくり 2件（10月～12月：7件）

ア ローマ市内にて団体で観光バスから降車した直後、見知らぬ者に落とし物があるといわれ車内に戻ったところ、複数の男に羽交い締めになれカバンを奪われた。

イ ローマ市内にて、「服がペンキで汚れている」と男に声を掛けられた。汚れを落とすためカバンを置いたところ、それを奪われ逃げられた。

(4) 車上荒らし 1件（10月～12月：1件）

ア ピサ市内の駐車場にて、駐車していた車の窓ガラスを割られ、車内に置いていたカバンを盗まれた。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人が被害に遭った強盗事件が1件発生した。事件の概要については以下のとおり。

強盗

1月17日

ローマ市内のホテルにおいて、男が鍵の掛かったドアを破壊して客室に侵入した。男は中にいた被害者に金品を要求し、現金と携帯電話を提示されるとそれを奪い、さらにその場から動かないよう脅した上でホテルから逃走した。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

6 対日感情の変化

特になし。

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。

8 日本人安全対策のために取った具体的措置

邦人観光客に対しては、当館ホームページ上に最新の防犯情報を掲載した。